



<まちづくり団体・住民の皆さまの取り組み>

まち 作りたい つたえたい  
参画と協働で良い地域を創り隊 伝え隊  
「地域資源の活用」  
(NPO 法人 結城まちづくり研究会)

### 結城市の紹介

結城市の市街地は、寺社や見世蔵が点在し歴史的  
情緒が残る JR 水戸線の北部と、新しい都市づくりが  
進む国道 50 号線バイパス周辺に形成され、それ以南  
に広がる農業地域は、肥沃な水田地帯と畑地に分か  
れ、米麦と生鮮野菜の栽培に適しています。

結城は、古くから麻や木綿（ゆう）の木が育つと  
ころとして下総の国「ゆうき」と呼ばれ縄文文化が  
栄えてきました。鎌倉時代に結城家初代結城朝光が  
源頼朝に結城地方に与えられ、以後 400 年にわたっ  
て代々この地を治めることとなります。戦国時代末  
期、豊臣秀吉より養子秀康（徳川家康の次男）を受  
け、そして西暦 1601 年、18 代秀康は越前への転封。  
その後結城家の旧領は 100 年にわたり、徳川幕府の  
天領（直轄地）になります。その後入封したのは、  
結城水野家で（ほかに山川水野家がある）結城家の  
家臣であった結城十人衆といわれる町方（商人）と  
共にまちの発展に尽くしました。このころ、伝統の  
紬を生産する為。桑の木を植え、養蚕業が盛んにな  
りました。

鎌倉時代から織られている高級絹織物「本場結城  
紬」は、国の重要無形文化財に指定されています。  
全工程が手作業で行われ高い品質を維持しており、  
市内には紬に関する展示館、資料館があります。そ  
の他伝統産業として、工芸品では桐製品が有名であ  
り、食物では干瓢、味噌、うどん、すだれ麩等があ  
ります。

### 結城まちづくり研究会

「つどえ～る」第 11 号（平成 16 年 1 月号）に、  
結城まちづくり研究会（以下、まち研）を紹介させ  
て頂きましたが、その後のまち研の取り組みを紹介  
いたします。

前回にも記しましたが「結城に生まれ育った子供  
達が、自慢げに故郷の素晴らしさを語れるまちに、  
結城市を創り上げて、次の世代に渡したい」と言う  
想いで「まち研」を設立した経緯があり、市の産業  
を支えてきた「桑」が、めっきり減少して「桑」を

見る事がなくなってきている昨今、これに歯止めを  
かけるため市の木「桑」の普及活動をし、まちづく  
りに寄与すべく、植栽並びに栽培をしております。

- 1. 平成 15 年、空き店舗活用事業の一環として、市  
内の空き店舗に結城観光物産館を開設



結城観光物産館

- 2. NPO 法人設立準備会設定。桑畑復活を目指して、  
桑苗木を市内、小中高等学校に寄贈する
- 3. 桑の盆栽化。「桑」の鉢植えを市情報センター、  
商店街に飾る。桑の実ジャム加工、頒布
- 4. 平成 17 年 4 月 NPO 法人の認証を受け、次の 4 項  
目の活動を掲げています。

まちづくりを推進する事業

文化、歴史芸術を推進する事業

環境保全を推進する事業

こどもの健全育成うい推進する事業

- 5. 桑の作付けを増やす。(1.5 反) 合計で 3 反強と  
なる。桑の葉茶試作
- 6. 竹の花筒立てを造り、市内商店街に配る(100 本)  
筑西広域やっぺい祭り(子供広場)毎年参加
- 7. 物産館の中に「まちかどミュージアム」を開設  
(与謝蕪村展、結城合戦展、結城七福神展。世  
界の桜は  
結城から)



まちかど  
ミュージアム



8. 平成18年「結城市民劇をつくる会」を立ち上げ、子供サマーフェスティバル開催
9. 地域づくり団体全国研修交流会茨城大会参加。ご近所の底力井戸端会議を結城で開催，訪問
10. 平成19年12月，市民劇「結城合戦物語」上演。桑ゼリーを開発販売



結城合戦物語  
デモンストレーション



結城合戦物語  
リハーサル風景

11. 平成20年は，昨年の市民劇好評に付き本年も上演。今年は結城市，3中学校生を招待する。等，色々項目を述べましたが，この中の2，3活動について紹介いたします。

## 活動状況

1. 結城観光物産館は，平成15年に3つの団体が協力し空き店舗を借用してシャッターを開けました。16年度からは，まち研が単独で運営しております。東京，神奈川，千葉方面からの顧客多い昨今ですが，今後はさらにリピーターの確保に努め結城の古いまちを散策して頂きたいと思っています。
2. 市の木「桑」に関しては，結城のシンボルであり，ますます桑を知らない子供，大人が増えてくると思われます。更なる桑の普及活動に勤めていき，今植栽している桑畑の耕作地の手入れを心がけ桑の実の収穫を得るように，今年は桑の実摘みツアーを組み，山梨のグループにきて頂きました。

山梨県西桂町  
(みつとうげ  
手織の里グループ)

桑の実摘みツアー



3. 文化，歴史芸術の振興については19年に結城市としては，初めての市民劇「結城合戦物語」を上演しました。市民の脚本，演出で出演者も市民と市に関係ある人達。大道具，小道具，衣装も市民の手作り。時代考証も図書館で調査し，手探りで作成。毎週土曜日に集まり，発声練習や所作の仕方等の稽古を行いました。

一年余の期間を経た上演では，みな初めての経験ながら，200名の出演者とスタッフの「市民劇場を成功させるんだ」という意気込みが，約二千名の観客の心に伝わり，「感動した」「初めてなのに素晴らしかった」「再度上演してほしい」との感想を頂きました。

そして平成20年第23回国民文化祭・いばらき2008行事の一つとして2回目の市民劇「結城合戦物語」を中学生にもわかり易く脚本を手直し，570年前にこの様な合戦が，この結城にあったことが語り継げる様，若者（中学生）を招待して上演。そして市民の喝采を得る事ができました。

## 活動の成果

まち研では，かつての地域の産業を支えながらも衰退してしまった地域資源に対し，これまでの活用方法とは切り口をかえて，新たな活用に取り組んでおります。昔は養蚕を主体に桑を取り扱っていましたが，桑の成分には炭水化物の吸収を抑制する効果があることが解り（DNG含有），昨今の健康ブームで食物への関心が高まり，又桑栽培による桑畑一ヘクタールあたり15tの酸素放出量があり，地球温暖化対策にも貢献し，かつての「地域資源の活用」を見直す時期と考えます。

まちづくりに必要なものとして「地域力」や「住民力」という言葉が使われますが。今回の市民劇は，この二つの力を一つにした「現場力」の発揮により，結城市の進める「協働のまちづくり」に対し，的確なアドバイスを発信したといえるでしょう。

### 問い合わせ先

NPO法人 結城まちづくり研究会

結城市大字結城388-2

結城観光物産館

TEL：0296-32-5330

URL：<http://yuki-machiken.org>

E-mail：[yuki-machiken@tg.lolipop.jp](mailto:yuki-machiken@tg.lolipop.jp)